

高専生と水車や本立て

● 周南^{徳山} ●

小畑小で夏休み木工教室



高専生と水車を作る子どもたち

周南市小畑の旧小畑小で十七日、木のぬくもりプロジェクトの夏休み木工教室が徳山高専の協力で開かれ、小中学生十五人が高専生や同プロジェクトのスタッフと一緒に水車や本立てを作った。同プロジェクトは木造校舎の小畑小を地元の活

性化に生かそうと木工品制作などを行っている。今回の水車は同高専三年、松根幸太君、本立ては小林志海君の設計。スタッフと一緒に試作を重ねて材料も用意した。水車は室内でオブジェとして楽しむもの。小さな板を組み合わせる複雑な

構造だが、子どもたちは高専生に手伝ってもらいながらクギを打ったり、ねじクギを使って組み立てた。また本立ては背板のデザインなどを自分で決めることができ、設計した小林君と一緒に作りながらこの経験を生かしていきたいと話していた。